

平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	06	項	01	目	03
事務事業名	大仙市秋の稔りフェア開催事業								
担当部署	農林商工部農林振興課	0503000	電話	0187-63-1111			内線	256	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	03:活き活きと希望を持って活躍できるまちづくり
	施策の大綱	01:農林水産業の振興
	施策	03:農産品の振興
	施策の内容	高品質、良食味米生産の確立、複合作物の生産拡大、地場産品の生産振興と消費拡大、農産加工の振興
根拠法令等		

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	農産物直売所が一堂に会し、秋の稔りへの感謝と地域農業への理解を求め、本市農業の飛躍を推進するため。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	市民、農業者、商業者、個人
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	①市内直売所による直売フェスタ ②農業部門展示コーナー ③地場産食材による食堂 ④商工業者各種協賛団体の出店・展示コーナー
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	市をあげて秋の稔りへの感謝の気持ちを共有できる。 また市民に、農・商・工業での取組みや芸術文化への関心を醸成し向上させる。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 農業関係実施イベント数	件	15	20	21
	② 商業関係実施イベント数	件	22	27	26
	③ 芸術文化関係実施イベント数	件	7	7	8
成果 (事業の成果を測る)	① 農業部(直売フェスタ/食堂)売上	円	3,645,920	4,147,500	4,061,580
	② 商工展示部売上	円	3,536,805	3,129,370	4,926,370
	③ 入込者数	人	70,000	70,000	41,800
投入コスト	決算額		3,159千円	2,836千円	2,636千円
		一般財源	2,500千円	2,225千円	2,225千円
	人件費		1,427千円	2,819千円	2,853千円
		一般職員の年間従事人数	0.2人	0.4人	0.4人
		一般職員以外の年間従事人数	0.0人	0.0人	0.0人
	総コスト	(決算額+人件費)	4,586千円	5,655千円	5,489千円

事業を取り巻く環境	米価の低迷や農業従事者の高齢化など農業の生産環境は厳しい状況にある。米作だけに依存しない農業の推進は農業経営及び地産地消を含め、食糧自給率の向上に重要な意味をもっている。秋の稔りフェアは、農家が複合化など経営を見直してもらおう役割を担っている。
-----------	--

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	市内の農業、商工業、芸術の各分野で活躍する方々が一堂に会する機会として、当フェアへの期待は非常に大きいものがある。 開催に当たっては、農業団体、商工業団体、芸術文化協会、市などが大仙市秋の稔りフェア推進協議会を組織して運営しているが、市が各団体の連絡調整を行い、行政主導で事業を推進することにより、円滑な運営が図られている。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	市内全域から多くの市民が訪れて来場者数も増えており、フェア開催の効果は順調に上がっている。 市町村合併以降、各地域、各団体の事情を踏まえて出店箇所の拡大を図ってきているが、今後は新規に取り入れるものと規模を縮小するものなどの検討を加えて、より賑わいのある祭りに変えていく必要がある。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	市のほか、関係団体が共同で実施している事業であり、他の団体へは委託できない事業である。 また、農業に関する祭典のほか、商工業、芸術に関する催しも一度に開催しており、整理統合は進んでいる。 祭りの開催に当たっては、警備などのほかは市職員、各団体の職員が当たっており、経費については関連団体も負担しながら開催している。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	現状	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
A 現状のまま継続 B 改善しながら継続		
C 拡大 D 縮小 E 廃止 F 終了		市内全域から多くの市民が訪れて来場者数も増えており、フェア開催の効果は順調に上がっていることから、現状の内容で継続する。 なお、祭りの内容については毎年検討を加え、より魅力のある祭典として開催できるよう、工夫をこらしていきたい。